

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
簿記論		企業活動の記録		相原 洋二	2年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	企業活動の記録から経営成績と財政状態を把握し企業の未来を読み解く			
ディプロマポリシーとの対応		1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目		「マーケティング論」				
講義の目的	簿記は企業規模や業種・業態を問わずに、日々の経営活動を記録計算整理して経営成績と財政状態を把握する前提となる技能です。簿記を学習することで企業経営に必要な不可欠な会計知識のほか、基礎的な経営管理や分析力が身につく、またビジネスの基礎である利益とコストを意識した仕事と取引先の経営状況を把握でき、社会に貢献できるビジネスマインド育成を目的とします。					
到達目標	本講義では①企業活動を貨幣の視点から記録することが出来るようになる。（例えば、回数券や定期券の販売は、鉄道会社の活動にどう影響するのか、ICカードへ入金はどのような会計処理するのか）。②簿記の仕訳のルールや勘定科目を理解し、③基本的な取引の処理方法を身につけ財務諸表の作成を目標として④会計の役割や財務諸表の構造理解・分析力の習得を目指す。					
講義内容	基本的な簿記の原理を習得することを目的に編成されています。イメージのしやすい商品販売業における簿記を学習することを通じて、現代簿記の基本原則を習得することに務めます。また、簿記の理論を正しく理解するために基本的な会計学についても学びます。さらに本講義では、鉄道をはじめとした交通関連企業の取引についても取り扱います。必要に応じて簿記検定の情報提供も行う予定です。なお、講義内容については、時間の関係で若干前後することもあります。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	リエンション・財務分析	講義の内容、評価方法の説明などの説明・身近な財務分析			
	第2講	総論 1	簿記の意義と種類、簿記一巡の流れ			
	第3講	総論 2	仕訳のルール			
	第4講	個別論点 1	現金・預金の会計処理			
	第5講	個別論点 2	商品販売の会計処理			
	第6講	個別論点 3	債権・債務の会計処理			
	第7講	帳簿のつながり 1	総勘定元帳の意義			
	第8講	特殊論点 1	鉄道事業の特徴と運賃の会計処理			
	第9講	特殊論点 2	バス・貨物事業の特徴と運賃の会計処理			
	第10講	決算整理 1	未収・未払の決算処理			
	第11講	決算整理 2	減価償却の内容と会計処理			
	第12講	決算整理 3	試算表の意義と作成方法			
	第13講	帳簿のつながり 2	試算表と財務諸表			
	第14講	財務分析	財務諸表の構造と分析			
第15講	まとめ	半期の復習				
指導方法	講義はテーマごとに解説をし、問題演習(ミニテスト)を中心に行って行きます。講義レジュメは教室配布しますが、ミニテストの解説で使用しますので次回も必ず持参して下さい。なお、本講義には電卓が必要です。					
事前学習	受講前に必ず前回の講義内容の復習を 30 分程度しておいてください。前回の講義が理解できていることを前提に講義がすすみます。したがって前半の基礎固めをおろそかにすると後半の総合問題が難しくなります。それと日常的に新聞等により企業の経営に関心を持つようにしてください。					
事後学習	簿記は取引を記録する技術なので、反復練習が必要です。授業内での配布プリントから自分の力でアウトプット出来るように当日なら 30 分程度、後日なら 1 時間を目安とする復習が必要です。					
成績評価方法	本試験（計算問題中心の筆記試験）60%、平常点（授業内でのミニテストや授業内課題）30%、平常点（発表・発言）10%で行います。					
テキスト	現時点では指定テキストはありませんが、日商簿記検定3級レベルのテキスト・問題集で演習をするとより身につくと思います。					
参考書籍	ネットスクール株式会社 日商簿記3級とおるテキスト【第3版】、新日本有限責任監査法人 『鉄道・バス事業（業種別会計シリーズ）』					
特記事項	教員経歴：平成20～23年 あずさ監査法人勤務、平成24年～現在 相原公認会計士事務所勤務					